



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月5日

上場会社名 株式会社マキヤ 上場取引所 東
 コード番号 9890 URL https://www.makiya-group.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川原崎 康雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 竹島 剛 TEL 0545-36-1000
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	33,199	3.7	275	△19.8	338	△16.7	203	△11.5
2019年3月期第2四半期	32,021	4.1	344	82.9	406	66.8	229	53.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 224百万円 (332.5%) 2019年3月期第2四半期 51百万円 (△76.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	20.34	—
2019年3月期第2四半期	23.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	30,303	13,942	46.0	1,396.55
2019年3月期	29,982	13,793	46.0	1,381.60

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 13,942百万円 2019年3月期 13,793百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
2020年3月期	—	7.50	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,200	△0.3	840	3.3	970	3.6	435	23.2	43.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	10,540,200株	2019年3月期	10,540,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	556,747株	2019年3月期	556,722株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	9,983,477株	2019年3月期2Q	9,983,478株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益が高い水準で底堅く推移し、雇用・所得環境は着実に改善しているものの、台風第19号など相次ぐ自然災害や米中貿易摩擦などの懸念により、先行きの不透明な状況が続いております。

個人消費につきましては、雇用者所得の改善を背景に引続き穏やかな回復傾向にあるものの、消費税率引上げ後の消費者マインドの低下が懸念されるなど、依然として厳しい状況で推移しております。

当小売業界におきましても、消費者の将来不安に対する「生活防衛志向」、同業態・異業態をはじめEコマースも含めた「競争の激化」、将来的な「人口減少・高齢化」や「人手不足」など、依然として厳しい経営環境で推移しております。

このような状況の中、当社グループは、①『品揃え』の充実強化、②『品質』『鮮度』『味』の改善、③価格面での毎日『安心安価』の実現、④『品切れ』撲滅と売場の『磨き上げ』、⑤明るい『あいさつ』と『親切対応サービス』、⑥『運用ルール』の徹底と『作業改善』を重点施策として取り組んでおります。また、ファーストチョイス商品（高価値・高付加価値の開拓商品）の販売強化やエスポット店舗へのスマートフォン決済の導入など、お客様へのサービスと利便性の向上に努めております。これにより、前年同期と比較して既存店ベースの「来店客数」は2.1%増加し、既存店売上高も2.9%増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間の店舗政策につきましては、業務スーパー寄居店を新規出店するとともに、エスポット沼津駅北店に業務スーパー商材を導入する等の大規模改装による集客力の向上を図りました。

区 分	店 舗 名	年 月	備 考
開 店	業務スーパー寄居店 (埼玉県大里郡)	2019年7月	新規開店
改 装	エスポット沼津駅北店 (静岡県沼津市)	2019年9月	業務スーパー商材の導入
閉 店	ポテト梅名店 (静岡県三島市)	2019年9月	閉店、テナント転貸化

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益は33,528百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は275百万円（前年同期比19.8%減）、経常利益は338百万円（前年同期比16.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は203百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①小売業

営業収益は33,324百万円（前年同期比3.7%増）となりました。『フード（食品）部門』につきましては、「エスポット（フード）」と「業務スーパー」が引き続き好調に推移し、生鮮食品及び加工食品ともに前年同期を上回る結果となりました。『ノンフード（非食品）部門』につきましては、消費税増税前の一時的な駆け込み需要があったものの、天候不順の影響等により前年同期を下回る結果となりました。

営業利益は369百万円（前年同期比14.9%減）となりました。これは、売上高の増加により売上総利益額が増加したものの、新規出店及び改装に伴う一時経費の発生と最低賃金の引上げ等による臨時社員の人件費コストの増加により、販売費及び一般管理費が増加したこと等によるものであります。

②不動産賃貸事業

営業収益は203百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は79百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は30,303百万円となり、前連結会計年度末と比較して320百万円増加いたしました。

流動資産は7,914百万円となり、前連結会計年度末と比較して179百万円増加いたしました。これは、9月の消費税増税前の駆け込み需要によるクレジット売上の増加により、売掛金が174百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は22,388百万円となり、前連結会計年度末と比較して141百万円増加いたしました。これは、新規出店や店舗の改装等により、有形固定資産が134百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は16,361百万円となり、前連結会計年度末と比較して171百万円増加いたしました。

流動負債は10,354百万円となり、前連結会計年度末と比較して265百万円減少いたしました。これは、買掛金が74百万円増加したものの、短期借入金が355百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は6,007百万円となり、前連結会計年度末と比較して436百万円増加いたしました。これは、設備資金等の調達により長期借入金が443百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は13,942百万円となり、前連結会計年度末と比較して149百万円増加いたしました。これは、株主資本が128百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末と比較して54百万円増加し、1,278百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加額が174百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が329百万円、減価償却費が513百万円あったこと等により679百万円の収入となり、前第2四半期連結累計期間より収入が62百万円減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出が371百万円あったこと等により393百万円の支出となり、前第2四半期連結累計期間より支出が78百万円減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入が1,400百万円あったものの、長期借入金の返済による支出が851百万円、短期借入金の純減額が460百万円、リース債務の返済による支出が246百万円あったこと等により231百万円の支出となり、前第2四半期連結累計期間より支出が112百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、2019年5月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,223,468	1,278,119
売掛金	713,306	887,433
商品	5,529,992	5,459,194
その他	269,238	290,315
貸倒引当金	△780	△320
流動資産合計	7,735,224	7,914,742
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,027,909	9,117,424
土地	7,597,947	7,597,947
その他(純額)	1,124,334	1,169,654
有形固定資産合計	17,750,191	17,885,026
無形固定資産	660,697	666,255
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,406,681	2,425,783
その他	1,429,971	1,411,645
投資その他の資産合計	3,836,652	3,837,428
固定資産合計	22,247,541	22,388,711
資産合計	29,982,765	30,303,453
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,799,528	4,874,339
短期借入金	3,055,595	2,700,511
未払法人税等	193,495	165,572
賞与引当金	115,104	142,914
役員賞与引当金	3,213	4,660
ポイント引当金	78,757	78,208
損害賠償引当金	120,000	120,000
その他	2,253,710	2,267,820
流動負債合計	10,619,405	10,354,028
固定負債		
長期借入金	2,959,275	3,403,083
退職給付に係る負債	772,873	748,973
役員退職慰労引当金	80,170	80,210
資産除去債務	565,679	572,638
その他	1,192,164	1,202,116
固定負債合計	5,570,163	6,007,021
負債合計	16,189,569	16,361,049

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,310	1,198,310
資本剰余金	1,083,637	1,083,637
利益剰余金	11,962,638	12,090,923
自己株式	△446,185	△446,204
株主資本合計	13,798,400	13,926,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136,778	135,662
退職給付に係る調整累計額	△141,982	△119,924
その他の包括利益累計額合計	△5,203	15,737
純資産合計	13,793,196	13,942,403
負債純資産合計	29,982,765	30,303,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	32,021,150	33,199,951
売上原価	25,147,720	26,160,237
売上総利益	6,873,430	7,039,713
営業収入		
不動産賃貸収入	328,747	328,226
営業総利益	7,202,178	7,367,940
販売費及び一般管理費	6,858,123	7,091,944
営業利益	344,054	275,995
営業外収益		
受取利息	4	15
受取配当金	8,718	5,128
受取手数料	34,748	34,689
リサイクル収入	26,400	26,084
その他	22,706	23,442
営業外収益合計	92,577	89,361
営業外費用		
支払利息	15,029	14,018
株主優待費用	6,261	6,714
その他	9,331	6,438
営業外費用合計	30,622	27,171
経常利益	406,009	338,185
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	6,487
災害による損失	36,368	1,722
特別損失合計	36,368	8,210
税金等調整前四半期純利益	369,640	329,975
法人税、住民税及び事業税	168,471	119,072
法人税等調整額	△28,462	7,742
法人税等合計	140,009	126,814
四半期純利益	229,631	203,160
親会社株主に帰属する四半期純利益	229,631	203,160

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	229,631	203,160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△196,651	△1,116
退職給付に係る調整額	18,833	22,057
その他の包括利益合計	△177,818	20,941
四半期包括利益	51,813	224,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,813	224,101
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	369,640	329,975
減価償却費	517,234	513,009
店舗閉鎖損失	—	6,487
貸倒引当金の増減額(△は減少)	763	△460
賞与引当金の増減額(△は減少)	25,690	27,809
ポイント引当金の増減額(△は減少)	1,058	△549
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△9,364	8,023
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6,390	40
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	1,938	1,447
受取利息及び受取配当金	△8,722	△5,144
支払利息	15,029	14,018
売上債権の増減額(△は増加)	△66,112	△174,127
たな卸資産の増減額(△は増加)	143,583	72,516
仕入債務の増減額(△は減少)	△292,203	74,811
未払消費税等の増減額(△は減少)	△15,126	△32,010
未収消費税等の増減額(△は増加)	83,904	—
その他	162,491	△4,035
小計	923,414	831,812
利息及び配当金の受取額	8,722	5,144
利息の支払額	△15,194	△14,591
法人税等の支払額	△174,461	△142,627
営業活動によるキャッシュ・フロー	742,480	679,737
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△456,384	△371,248
貸付金の回収による収入	—	79
敷金及び保証金の差入による支出	△23,893	△33,210
敷金及び保証金の回収による収入	4,210	251
その他	3,143	10,148
投資活動によるキャッシュ・フロー	△472,924	△393,978
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△170,000	△460,000
長期借入れによる収入	1,200,000	1,400,000
長期借入金の返済による支出	△841,144	△851,275
リース債務の返済による支出	△233,485	△246,418
自己株式の取得による支出	—	△18
配当金の支払額	△74,397	△73,395
財務活動によるキャッシュ・フロー	△119,028	△231,108
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	150,528	54,650
現金及び現金同等物の期首残高	1,048,964	1,223,468
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,199,492	1,278,119

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。